

（山村活性化支援交付金）ぶどう山椒を活用した商品開発及び販路拡大

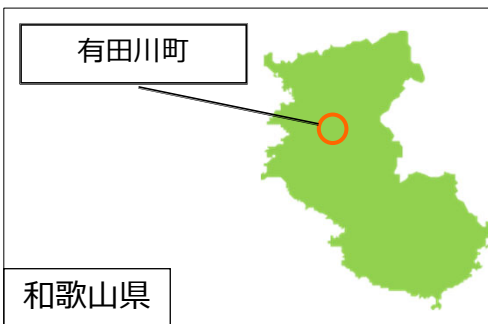
ありがたわ
【和歌山県有田川町】

取組のポイント

- ◆ぶどう山椒の発祥地、かつ、一大産地でありながら、後継者不足等により産地消滅の危機に直面しており産地振興策がスタート
- ◆認知向上を目的に、農家・大学・町等が連携し、新たな用途の商品を開発。商品売上の一部は苗木購入費に充てられるなど、産地を未来へつなぐサイクル形成
- ◆農家等住民が主体的に未来の産地を意識しはじめ、外部との交流機会の創出、就農希望者の案内等、民間による産地振興も開始。本プロジェクトは、農山漁村のポテンシャルを引き出す優良事例として「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」に認定（令和4年度）

地区の概要

- ◆位置
和歌山県有田郡有田川町
（旧石垣村、岩倉村、五村、八幡村、安諦村）



- ◆活用した地域資源
ぶどう山椒
- ◆事業実施主体
有田川町
- ◆主な取組団体等
農家、有田中央高等学校、有田川町、龍谷大学 等
- ◆事業実施期間
R2～R4

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆山椒の実だけでなく、未活用の部位の軸を活用した商品開発
- ◆開発商品であるカレーを「冷凍」から「レトルト」化し、より流通しやすい形状へ改良
- ◆地元高校が幼木の生育調査や研究を実施



【ぶどう山椒の軸からできたアロマオイル】



【幼木の生育調査】



【レトルトカレー】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ミシュラン3つ星料亭等の販路獲得により、ぶどう山椒のブランド価値が向上
- ◆地元農家等による交流人口・就農希望者等の受入体制整備とあわせた就農フェアやインターンシップ制度の実施
- ◆本プロジェクトが全国レベルで評価され、認知度向上



【就農希望者の受入】



【「ディスカバー農山漁村の宝」認定】

取組の成果

- ◆新商品の開発 11品（カレー、餃子、アロマオイル等）
- ◆新商品の販売額 549千円（R2）→2,030千円（R3）※対前比370%
- ◆ぶどう山椒生産農家への新規就農数 0人 → 3人